



～図書室にはこんな本があります～

No. 112

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 戦時下の出版統制について知りたい。

答) 「戦時 出版 統制」をキーワードとして、ことば検索します。

全資料 → **ことばから調べる** → **戦時 出版 統制** ⇒ 236 件該当

さらに、「用紙」「規格」などのキーワードで検索します。

全資料 → **ことばから調べる** → **戦時 出版 用紙** ⇒ 43 件該当

全資料 → **ことばから調べる** → **戦時 用紙 規格** ⇒ 16 件該当

『三省堂の百年』(閉架一般 023/Sa66)

『新聞出版用紙割当制度の概要とその業務実績 第1巻』(閉架一般 023/Sh59/1)

『朝日新聞出版局史』(閉架一般 023/A82)

『戦時物資統制法』(地下書庫江波戸図書 E333/Sh49)

『産業統制法規』(閉架一般 333/Ko52)

* 昭和15年12月、政府の出版統制の実施機関である日本出版文化協会が創立され、
16年からは出版物の事前審査とそれに対する用紙の割当が実施された。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

「林檎忌・麦の日」って知っていますか？

「桜桃忌」が太宰治の亡くなった日(6月19日)であることはご存じの方も多いですが、「林檎忌・麦の日」は一体何の日でしょうか。

「林檎忌・麦の日」は、“歌謡界の女王”とよばれた美空ひばり(本名加藤和枝)が亡くなった日です。これは、ヒット曲「りんご追分」から「林檎忌」、名前の「ひばり」と縁の深い麦にちなんで「麦の日」と名づけられました。

美空ひばりは、平成元年6月24日未明、都内の病院で亡くなりました。死因は、間質性肺炎による呼吸不全で、52歳の早すぎる死でした。

彼女は昭和12年5月29日、横浜の魚屋「魚増」の娘として生まれました。父親の影響で幼い時から流行歌を歌い、6歳頃には、出征兵士の壮行会で「九段の母」を歌ったなど多くのエピソードがあり、近所では有名でした。昭和21年、復員した父親はひばりのために、素人を集めて「美空楽団」を結成し「美空和枝」として初舞台を踏みました。その後、23年に小唄勝太郎の前歌に出演し、観客の度肝を抜いたそうです。24年に日劇小劇場に出演した時から、「美空ひばり」を名乗りました。この芸名で「のど自慢狂時代」で映画デビュー、「河童ブギ」でレコード・デビューし、「悲しき口笛」の映画と歌が大ヒットして活躍するようになりました。

初期のヒット曲としては、25年「東京キッド」、27年「りんご追分」、さらに一連の港町ものに続いて40年「柔」、41年には「悲しい酒」が大ヒットしました。大晦日のNHK「紅白歌合戦」では、10年間紅組のトリをつとめる偉業を成しました。

62年4月大腿骨骨頭壊死で入院。いったんは退院して、63年4月には東京ドームで「不死鳥コンサート」で復活、平成元年1月に「川の流れるように」のヒットで再起したかと思われましたが、3月に再入院しました。そのまま再び舞台に立つことはありませんでした。

平成元年6月25日「朝日新聞」の天声人語に、美空ひばりの死について書かれています。その文章のなかに、

— (略) 歌い手以外の何かになりたいと思ったことはあるか。自問して、うそでも何か言ってみたいが、うまくゆかぬ。「そんな時ちよっとさびしいなあ」と感じたそうだ。(略) —
昭和の歌姫の素顔を垣間見た一文でした。

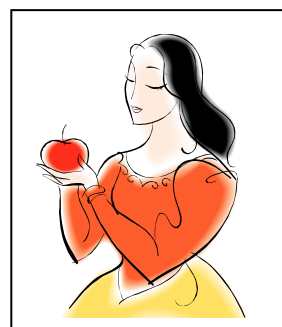
参考文献

『昭和戦後史 下』(210.7/F93/3)

『親と子の日本史』(281/Sa63)

『朝日新聞縮刷版1989年6月』(071/A82/1989-6)

『まるごとわかる365日ものしり百科6月』(386/Ta87/6)



—図書室から—

ふと気がつけば、今年も半分過ぎますね。年明けから「百年に一度の不況」といわれ、新型インフルエンザなど社会情勢もなかなか落ち着かない日々です。今年の後半は何かいいことがありますように！

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ No. 112

2009年6月20日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1